

数多くの新機能を搭載したプログラム式リズムマシンKPR-77。その最大の特長は画期的なリアルタイムプログラム機能です。ドラムやパーカッションを演奏するのと同じ感覚でリズムパターンをプログラムすることができ、またパーカッションの代わりに叩いて打楽器として活用することもできます。もちろんステップごとにプログラムするステップライトも可能。さらに、テープインターフェイスによってリズムパターンのメモリーを無限に拡張することができます。

思いのままに新しい楽器音を書き込んでゆくリアルタイムプログラム機能が、リズムマシンの既成概念を打ち破り、新しい打楽器を誕生させたのです。

音源は、ハンドクラップを含め8種類。コルグ独自のシンセサイザー技術により各打楽器音を忠実に合成、リアルな音質を再現しました。タムをわずかにずらしてたたきフラム効果、各打楽器音の音量バランスを調整するミキシング機能、リズムを強調するアクセント機能など、今までにない生きたリズムをつくり出すことができる数々の機能が搭載されています。

自動演奏は最大256小節。ひとつのバンクには32ステップまでのパターンが連続的に書き込み、16ビートなら2小節分を繰り返りメモリーさせることができます。また、メモリーしたリズムパターンを組み合わせることでその演奏順序を自由に決め、2小節パターンで最大512小節の自動演奏をさせることができます。ダ・カーポ、ダル・セーニョ、リピート機能、何小節かのアドリブを挿入する場合に便利なネクストプレイなど、複雑な構成の曲にも充分に対応できるKPR-77は、プロのドラミングにも匹敵する本格的なプレイを可能にしました。動作状態は常に液晶ディスプレイによって表示され、書き込みやプレイ中のバンクやステップ、プログラムの内容などが一目で確認できます。

アウトプットは、各楽器音の左右の定位がプリセットされた広がりのある音楽空間を生み出すステレオアウトの他に、スネアドラムとハンドクラップの独立した出力端子も装備。リバーブやエコーを接続することにより演奏効果をさらに高めることができます。またトリガーアウトジャックまたはシンクロジャックにより、シーケンサーや他のリズムマシンとの同期演奏が可能です。



▼(付属品)  
ACアダプター

▲オプション(別売)  
ソフトケース ¥4,300

仕様 ●音源: バスドラム、スネアドラム、ハイハット・オープン、ハイハット・クローズ、シンバル/クラップス、ロータム、ハイタム、メトロノーム ●アクセント オール・インストルメンツ ●フラム ●ロータム、ハイタム ●モード: ライト、プレイ、トレーニング ●ベーシック・バンク: 3グループ×16バンク=48バンク、チューン・バンク: 3グループ×2バンク=6バンク ●ステップ・ナンバリング: 32ステップ/バンク(ロータム1536ステップ)、チューン128ステップ/バンク(ロータム768ステップ) ●レゾリューション: 4、8、16、32 ●ミュージック・ファンクション: 3 ●F FINE/D.S.、リビートタイム(1-9)、D.C.、D.S.、ワンタイム/リビート、スタート/ストップ ●エディット・ファンクション: オール・クリアー、ベーシック・イレイズ、ステップ・アップ、ステップ・ダウン、バー・セット、ベーシック・ビュー、チューン・ビュー ●テンポ: 1=35/MIN-1=208/MIN ●ディスプレイ: リネックリスタルディスプレイ(グループ、ベーシック・バンク、チューン・バンク、バー・ナンバリング、ステップ・インジケータ、リビートタイム他) ●テープ・インターフェイス: セーブ、ロード、チェック、ディスプレイ/イネイブル・スイッチ ●パラメーター: メトロノーム、アクセント、バスドラム、スネアドラム、ハイハット、シンバル/クラップス、タム ●シンクロ: DIN・ジャック、イン/アウト・スイッチ ●インプット・ジャック: スタート/ストップ、テープ・イン ●アウトプット・ジャック: ステレオアウト(ミックス/ライト、レフト)、スネアドラム/クラップス、ヘッドホン、トリガーアウト(ロータム、ハイタム)、テープアウト ●電源: 単2乾電池×4、またはDC9V ●外形寸法: 362(W)×199.6(D)×72(H) ●重量: 1.6kg(電池込み) ●付属品: 専用ケース、ACアダプター、メモリーカセット、接続コード(ホーン→ホーン×1、ミニ→ミニ×1)

●KPR-77の入出力部分



- MIX/R-STEREO-L: 各打楽器音の左右の定位がプリセットされたステレオアウトジャックです。SD/CLPS: スネアドラムとハンドクラップの独立した出力ジャックです。
- ステレオヘッドホン用の出力ジャックです。
- フットスイッチ(PS-1など)を接続すると、足元でリズムのスタート、ストップをコントロールできます。
- シンセサイザー(モノポリャー、MSシリーズなど)やシーケンサー(SQ-10)などを同期演奏させるためのトリガー信号を出力します。
- もう一台のKPR-77やDIN端子をもったシーケンサーやリズムマシンと同期演奏させるための入出力ジャックです。そして、DIN端子でリズムマシンに接続した場合、どちらがメインになるかを決定するスイッチです。
- テープにストックしたリズムパターンを演奏したり、つくったリズムパターンをテープにメモリーさせるための入出力ジャックです。
- 専用の電源アダプターを接続する端子です。

# RHYTHM PATTERN

## リズムパターンの書き込み方

**1** 書き込みたいバンクのナンバーを押しながら、MODEをPLAYからWRITE/TRAININGに切り換えます。

**2** [レゾリューションの設定] FUNC SETのボタンを押しながら、11-14までのボタンのひとつを押します。1をいくつに分けて使うかが決まります。

**3** [レングスの設定] FUNC SETのボタンを押しながら、1-8までのボタンのひとつを押します。1がひとつのリズムパターンの中に入ってくるか、つまりそのリズムの拍数が決まります。

**5** **ステップライト**  
ステップインジケータを見ながら1ステップずつ楽器音を書き込みます。休符のときはSTEP UPボタンを押します。

**6** まちがえて書き込んだときは、STEP UPかSTEP DOWNのボタンで、そのステップが点滅するようにあわせ、ERASEボタンと消したい楽器のナンバーを押せば消去されます。

たとえばステップライトで次の譜例を書き込む場合

オープン・ハイハット(O.H.H.)  
クローズド・ハイハット(C.H.H.)

譜例の最小音符単位は16分音符なので、レゾリューションは4、4/4の拍子なのでレングスは4を選びます。  
■のところで書き込む楽器のボタンを押します。一度にたくさんの楽器音を書き込むこともできます。

**4** 楽器音のボリュームをすべて中央にセットし、ERASEボタンを押しながらALL INSTボタンを押します。これで前のパターンはすべて消去されます。

**5** **リアルタイムライト**  
STARTボタンを押すとメトロノームの音が聞こえます。それにあわせて各楽器に対応するボタンを押すと、押したタイミングでリズムが書き込まれます。

**6** まちがえて書き込んだときは、テンポをゆっくりにし、消したい楽器のタイミングにあわせてERASEボタンとその楽器のナンバーを押せば消去されます。